

介護職員に関する人材確保・確保育成ニーズ調査報告(案)

1. スタッフの募集

常時募集でスタッフを確保している	16.5%
毎年の定期的な募集と欠員が生じたときの募集でスタッフを確保している	30.2%
欠員が生じたときのみ募集を行なっている	48.8%
毎年定期的に募集をしている	4.4%
合計	100.0%

(平成19年5月全老健実施 人材確保に関する調査より)

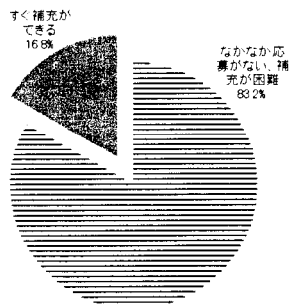
全国老人保健施設協会

介護職員に関する人材確保・確保育成ニーズ調査報告(案)

2. 応募、補充状況(全国)

募集してもなかなか応募が無い	36.7%	83.2%
募集すると応募があるが、欠員補充には時間がかかる	46.5%	
募集すると応募があり、すぐ欠員補充ができる	16.8%	
合計	100.0%	

(平成19年5月全老健実施 人材確保に関する調査より)



全国老人保健施設協会

表1-2-1 介護保険施設の現状及び人員配置基準

	介護療養型医療施設	老人保健施設	特別養護老人ホーム	
基本的性格	重医療・要介護高齢者の長期療養施設	要介護高齢者が在宅復帰を目指すリハビリテーション施設	要介護高齢者のための生活施設	
定義 (介護保険法)	〔「介護療養型医療施設」の定義〕 療養病床等を有する病院又は診療所であって、当該療養病床等に入院する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の世話及び機能訓練その他の必要な医療を行うことを目的とする施設。	〔「介護老人保健施設」の定義〕 要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他の必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことを目的とする施設。	〔「介護老人福祉施設」の定義〕 老人福祉法に規定する特別養護老人ホームであって、当該特別養護老人ホームに入所する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行うことを目的とする施設。	
施設数	3,717	3,131	5,291	
定員数	138,942人	282,513人	363,747人	
平均要介護度	4.30	3.19	3.73	
平均在所日数	359.5日	230.1日	1,429.0日	
1人当たり居室面積	6.4㎡以上	8㎡以上	10.65㎡以上	
1部屋の定員数	4人以下	4人以下	4人以下	
主な職員配置基準	医師	3以上 48:1以上	常勤1以上 100:1以上	必要数 (非常勤可)
	看護職員	6:1以上	看護・介護 3:1以上 (看護2/7)	看護・介護 3:1以上 入所者100人の場合、 看護3人
	介護職員	6:1以上		
	理学療法士(PT) 作業療法士(OT)	PT及びOTが適当数	PT又はOTが100:1以上	
	機能訓練指導員			1以上
	生活(支援)相談員		100:1以上	常勤1以上 100:1以上
	介護支援専門員 (計画作成担当者)	常勤1以上 100:1以上	常勤1以上 100:1を標準	常勤1以上 100:1を標準

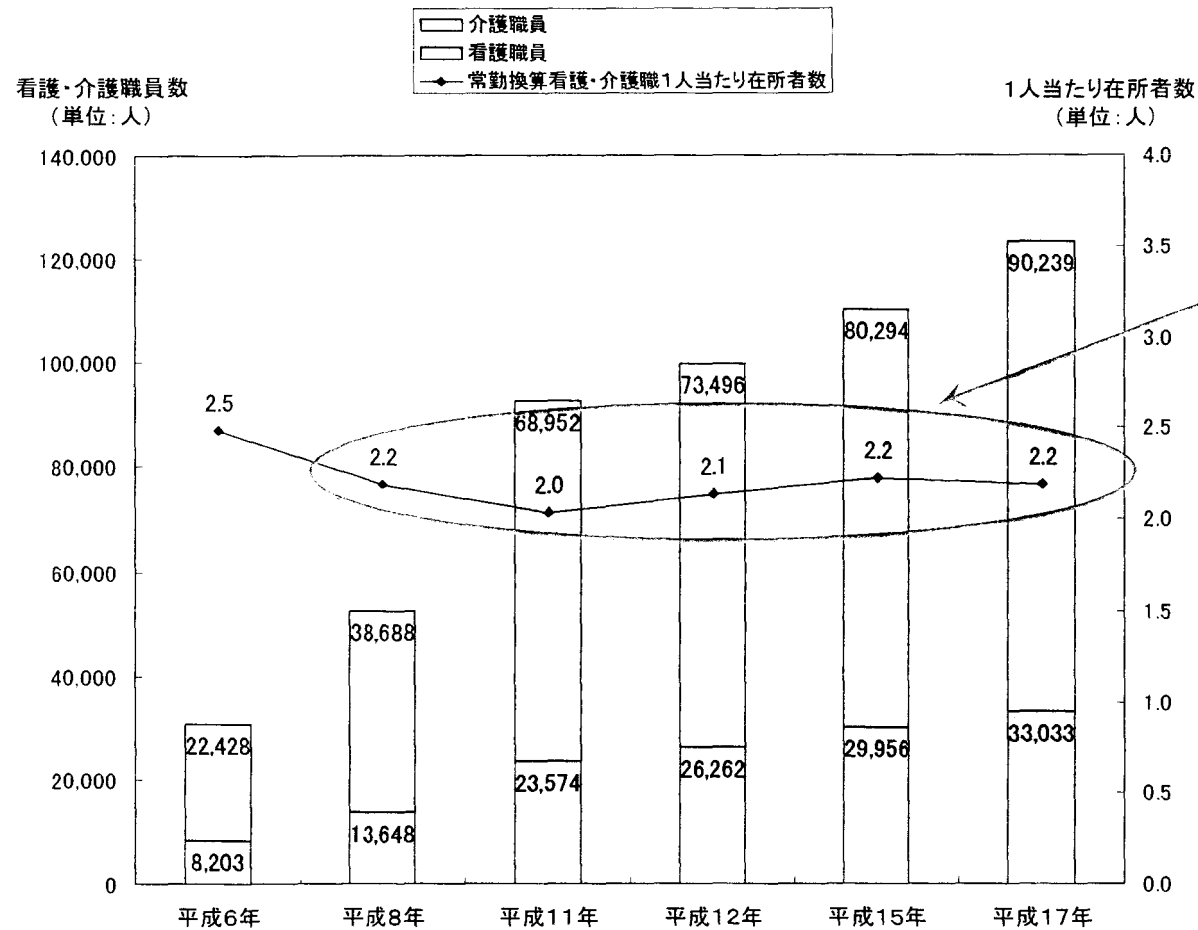
老健施設は、利用者3名に対し、看・介護職1名の配置が基準

- 1 平均要介護度は、「介護給付費実態調査」(厚生労働省統計情報部、平成17年11月審査分)から算出
- 2 施設数、定員数については、「介護サービス施設・事業所調査」(同、平成16年10月1日時点)
- 3 平均在所日数については、「介護サービス施設・事業所調査」(同、平成15年9月中の退所者等について)
- 4 特定施設は、外部サービス利用型特定施設を除く。

(全老健編集図書「平成19年版 介護白書」より)

資料 厚生労働省 介護施設等の在り方に関する委員会

老人保健施設の看護・介護職員数



実際の配置は、
利用者2.2人に対し、
看・介護職員を1名配置

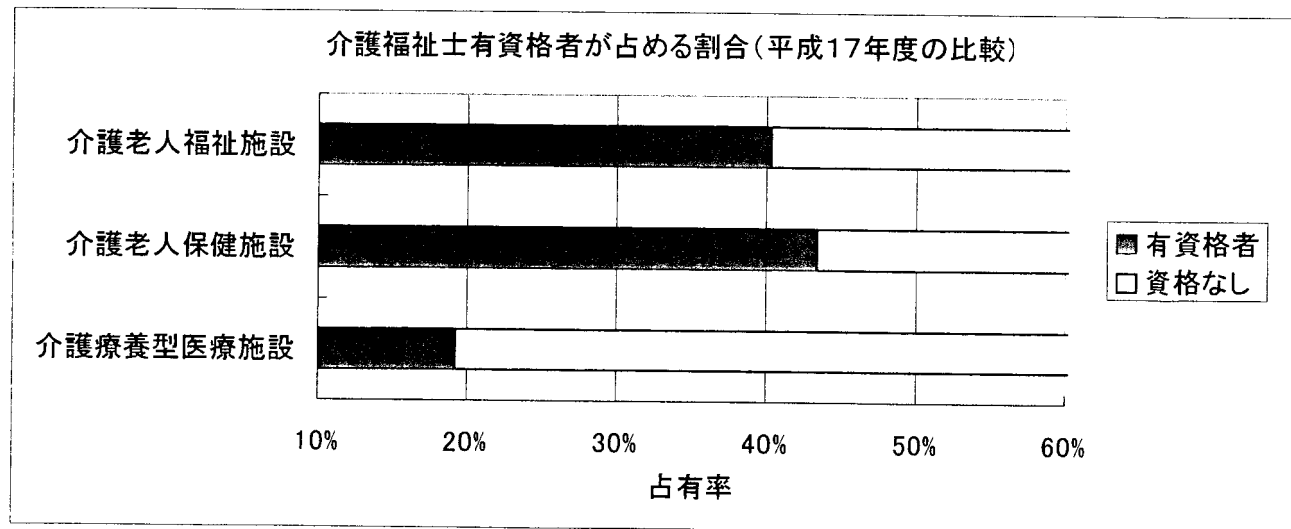
- 平成11年までは老人保健施設調査(厚生省発表)、平成12年以降は介護サービス施設・事業所調査(厚生労働省発表)をもとに作成
- 法令では、常勤換算1人当たり在所者数は、平成11年までが3.6:1、平成12年以降は3:1が配置基準となっている

介護福祉士の有資格者の比率

介護職員のうち、介護福祉士が占める割合（介護保険3施設の比較）

種別	年度	介護職員			うち、介護福祉士の有資格者			有資格者の割合		
		総数	常勤 ^{※1}	非常勤	総数	常勤 ^{※1}	非常勤	総数	常勤 ^{※1}	非常勤
介護老人福祉施設	平成15年	145,650	121,172	24,478	57,455	55,926	1,529	39.4%	46.2%	6.2%
	平成16年	152,828	130,767	27,061	62,944	61,010	1,934	41.2%	46.7%	7.1%
	平成17年	171,800	141,165	30,635	69,138	66,661	2,477	40.2%	47.2%	8.1%
介護老人保健施設	平成15年	83,729	76,444	7,285	35,396	34,985	411	42.3%	45.8%	5.6%
	平成16年	88,850	80,915	7,935	38,326	37,720	606	43.1%	46.6%	7.6%
	平成17年	94,353	85,099	9,254	40,917	40,104	813	43.4%	47.1%	8.8%
介護療養型医療施設	平成15年	52,099	47,687	4,412	8,561	8,477	84	16.4%	17.8%	1.9%
	平成16年	51,463	46,895	4,568	9,228	9,116	112	17.9%	19.4%	2.5%
	平成17年	46,216	42,213	4,003	8,875	8,732	143	19.2%	20.7%	3.6%

※1：「常勤」数は、「専従」と「兼務」の合算
 （平成15～17年度「介護サービス施設・事業所調査」から引用して作成）



平成18年4月の給与改定状況

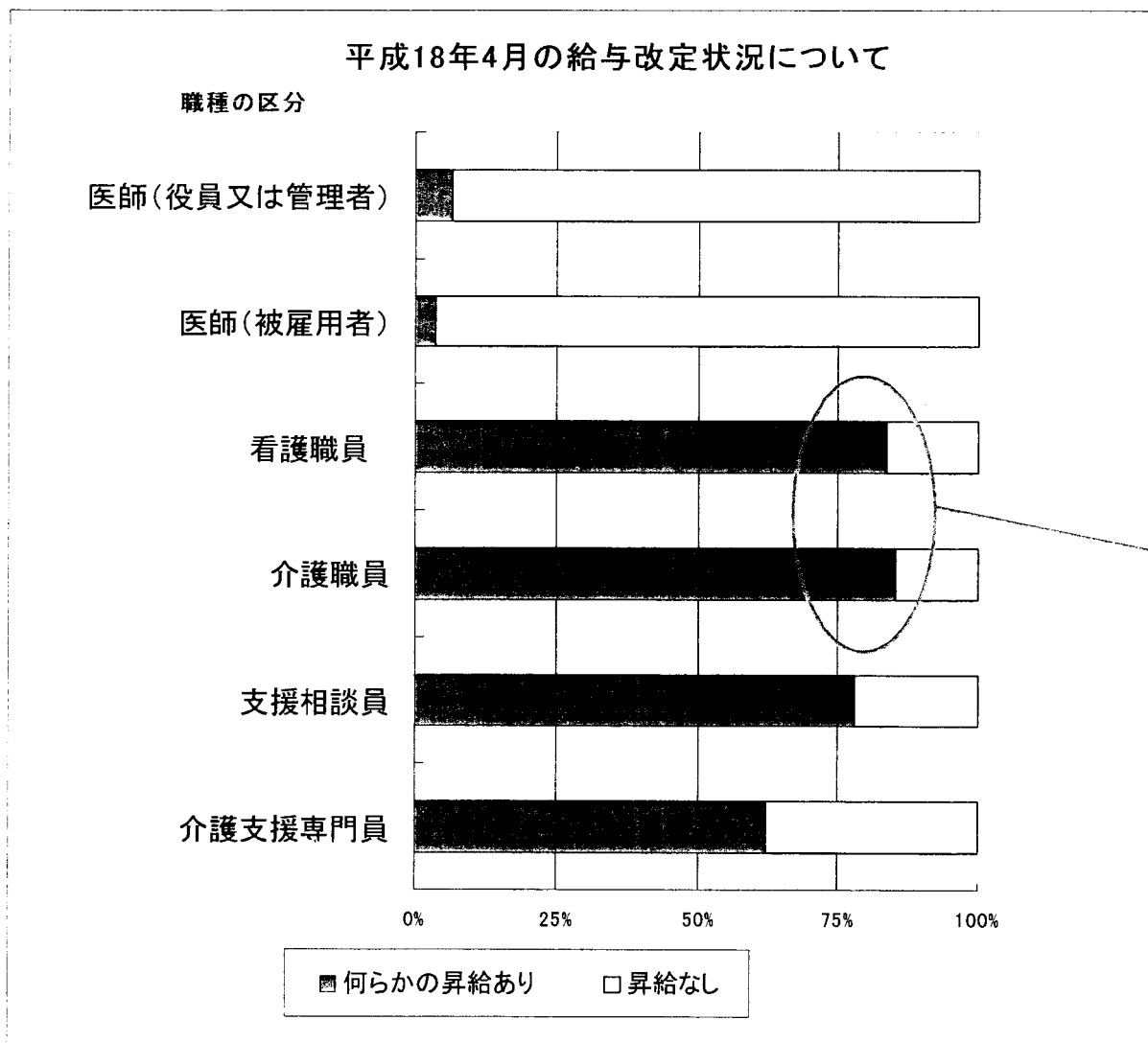
(平成18年6月実施 全老健「平成18年4月介護報酬改定後の経営影響調査」より)

Q: 前年対比昇給率は、平成17年4月の基準内給与金額で調査票の昇給総額を除いて算出して下さい。

区分	イバースアップ金額 (平均額)	ロ定期昇給金額 (平均額)	ハ諸手当等見直 (平均額)	ニ昇給額 (イ+ロ±ハ)
医師(役員又は管理者) N=388	△ 22.7円	290.8円	△ 12.6円	255.4円
うち、0以外データの平均(A)	△ 8,812.0円	4,904.9円	△ 1,221.8円	3,964.5円
0以外データ数(B)	(1)	(23)	(4)	(25)
(B)のNに対する比率	0.26%	5.93%	1.03%	6.44%
医師(被雇用者) N=329	△ 34.3円	291.9円	△ 8.6円	249.0円
うち、0以外データの平均(A)	△ 3,766.7円	7,388.2円	△ 944.3円	5,850.9円
0以外データ数(B)	(3)	(13)	(3)	(14)
(B)のNに対する比率	0.77%	3.35%	0.77%	3.61%
看護職員 N=395	139.9円	2,346.1円	113.7円	2,599.7円
うち、0以外データの平均(A)	1,127.4円	3,120.3円	736.3円	3,159.6円
0以外データ数(B)	(49)	(297)	(61)	(325)
(B)のNに対する比率	12.63%	76.55%	15.72%	83.76%
介護職員 N=399	264.5円	2,280.1円	103.6円	2,648.3円
うち、0以外データの平均(A)	1,819.7円	2,982.9円	608.0円	3,182.7円
0以外データ数(B)	(58)	(305)	(68)	(332)
(B)のNに対する比率	14.95%	78.61%	17.53%	85.57%
支援相談員 N=392	153.6円	2,373.5円	40.3円	2,567.4円
うち、0以外データの平均(A)	1,368.7円	3,358.9円	367.1円	3,321.5円
0以外データ数(B)	(44)	(277)	(43)	(303)
(B)のNに対する比率	11.34%	71.39%	11.08%	78.09%
介護支援専門員 N=366	156.4円	1,975.3円	77.3円	2,209.0円
うち、0以外データの平均(A)	1,467.3円	3,271.4円	785.8円	3,340.9円
0以外データ数(B)	(39)	(221)	(36)	(242)
(B)のNに対する比率	10.05%	56.96%	9.28%	62.37%

平成18年4月の給与改定状況

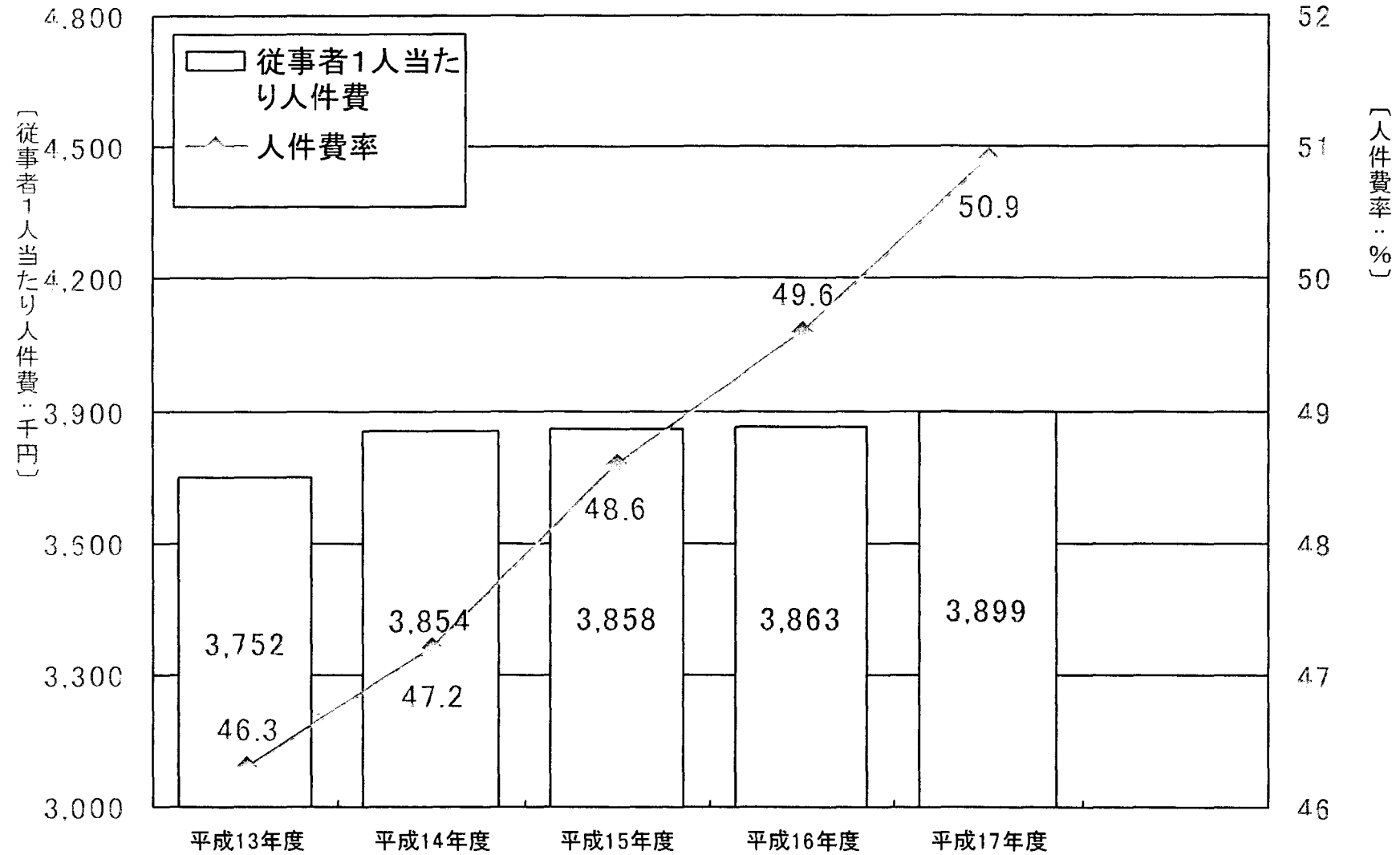
(平成18年6月実施 全老健「平成18年4月介護報酬改定後の経営影響調査」より)



Q: 前年対比昇給状況
 (平成17年4月の基準内給与金額と比較して、平成18年4月時点の給与について記入)

看・介護職については、80%以上の職員に対し、何らかの昇給(ベースアップ、定期昇給、諸手当見直し等)を行なった

従事者1人当たり人件費と人件費率の推移(介護老人保健施設)



独立行政法人福祉医療機構提供資料：各年度の「介護老人保健施設の経営分析参考指標」から作成

介護老人保健施設は、 若い介護職員がケアサービスを支えている

表2-1-25 事業所の種類別にみた年齢階級別従事者の構成割合

(単位：%)

平成16年10月1日現在

	総数	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
訪問介護							
介護職員	100.0	12.3	17.7	33.2	30.9	5.6	0.3
訪問看護ステーション							
看護職員	100.0	9.0	36.4	38.7	14.6	1.2	0.1
認知症対応型共同生活介護							
介護職員	100.0	34.6	18.9	21.3	20.5	4.2	0.4
居宅介護支援							
介護支援専門員	100.0	4.1	29.4	36.2	26.4	3.7	0.1
介護老人福祉施設							
介護職員	100.0	44.9	23.7	16.5	14.1	0.6	0.3
看護職員	100.0	7.9	18.2	40.1	30.8	2.9	0.1
介護支援専門員	100.0	7.0	32.0	33.3	25.4	2.2	0.1
介護老人保健施設							
介護職員	100.0	51.4	23.3	14.7	9.8	0.5	0.3
看護職員	100.0	10.8	24.5	36.3	25.3	3.1	0.1
介護支援専門員	100.0	9.0	33.2	31.9	22.1	3.6	0.2
介護療養型医療施設							
介護職員	100.0	34.5	15.8	21.2	25.2	2.9	0.4
看護職員	100.0	14.2	22.8	34.5	24.9	3.5	0.0
介護支援専門員	100.0	3.6	24.3	38.8	28.7	4.6	—

「平成16年介護サービス施設・事業所調査」
(全老健編集図書「平成19年版 介護白書」より)

全老健の主な研修会等(年間30本以上)

認知症ケア研修会(年3回)

ケアプラン施設内養成指導者研修会(年1回)

リハビリテーション研修会(年4回)

リスクマネジメント研修会(年1回)

リスクマネジャー養成講座(年4回)

安全推進セミナー(年2回)

施設内感染症指導者研修会(年1回)

摂食・嚥下・栄養セミナー(年1回)

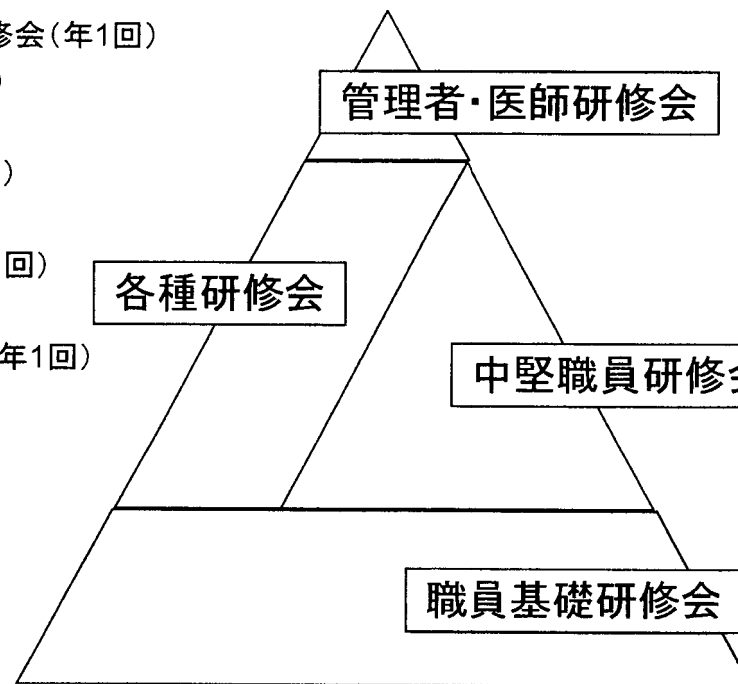
高齢者ケアプラン策定実践講座(年1回)

看護職研修会(年1回)

在宅支援研修会(年1回)

会計に関するセミナー(年数回)

実地研修(全国89カ所)

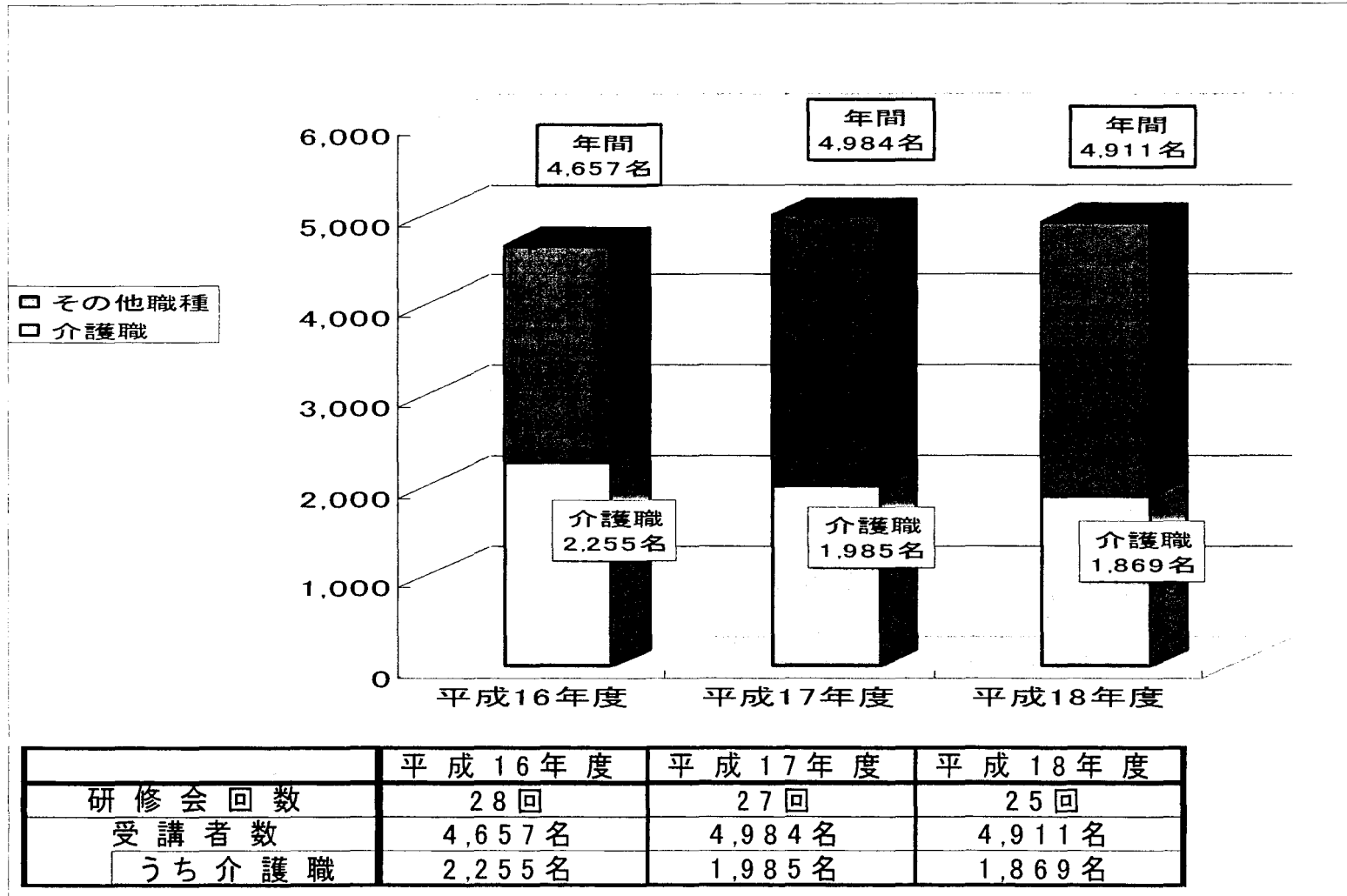


- ・認知症短期集中リハ研修(医師対象)
(年数回)
- ・医師研修会(年1回)
- ・管理者(職)研修会(年2回)
- ・老健医療研究会(年1回) 等々

老健勤務年数5年以上
(年5回)

老健勤務年数2年未満
(年5回)

全老健の主な研修会の受講者数



毎年約5,000名の職員が各種研修会に参加

全老健の主な研修会内容

会員各位

全老健第19-〇〇号
平成19年6月〇〇日

社団法人全国老人保健施設協会
会長 川合 秀治
(公印省略)
研修委員会
委員長 平川 博之

ケアのプロフェッショナルを目指して

平成19年度第2回職員基礎研修会(京都会場)開催

職員基礎研修会は、老健職員として必須の基礎的知識の習得を目的としています。ディスカッションでは、全国の老健スタッフの皆さんとともに仕事に対する夢や悩みを語り合います。

日程 平成19年7月26日(木)～7月27日(金)
会場 国立京都国際会館 <http://www.icckyoto.or.jp/>
〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町422番地 TEL (075) 705-1234
参加費用・定員 1人〇,〇〇円(資料代・消費税込み、意見交換会参加費別)-200名(定員となり次第締切)
参加対象者 正・準会員及び老健実務経験2年未満の会員施設職員及び賛助会員
受講証書の発行 全期間受講された方に受講証書を交付致します。ただし、遅刻・早退等により全課程を受講されなかった際は、受講証書の交付は致しかねます。
参加券 研修会開催通知の1週間前に株式会社〇〇〇〇よりご郵送させていただきます。

第1日目

11:30	受付	
12:20	オリエンテーション	
12:25	開講式	
12:30	介護老人保健施設の理念と役割	
～13:30	全老健 会長	川合 秀治
13:40	チームケアについてーめざせケアのプロフェッショナルー	
～14:40	全老健 研修推進部会	〇〇〇〇
14:50	介護保険制度について	
～15:50	ーこれだけは知っておこう介護保険制度ー	
	全老健 副会長	高橋 清
16:00	老健での夢を語ろう ディスカッション	
～17:30	進行:全老健 研修委員会 委員	〇〇〇〇
18:00	意見交換会	

第2日目

9:00	介護老人保健施設のリハビリテーション	
～10:00	全老健 リハビリテーション部会員	〇〇〇〇
10:10	認知症高齢者の理解とケア	
～11:10	全老健 認知症部会員	〇〇〇〇
11:20	高齢者介護における食事サービスのあり方	
～12:20	〇〇県 介護老人保健施設〇〇〇〇	栄養科長 〇〇〇〇
13:10	高齢者ケアプラン	
～15:00	「ケアプランの意義」	
	〇〇県 介護老人保健施設〇〇〇〇	副施設長 〇〇〇〇
	「事例検討」	
	〇〇県 〇〇〇〇老人保健施設	主任 〇〇〇〇
15:00	閉講式	

全老健の主な研修会内容

全老健第19-〇号
平成19年〇月〇日

会員各位

社団法人全国老人保健施設協会
会長 川合 秀治
(公印省略)

研修委員会
委員長 平川 博之

中堅職員のスキルアップ!

平成19年度第2回中堅職員研修会(京都会場)開催!!

中堅職員研修会は、老健職員としての資質向上を目的としています。昨年度ご好評の「スキルアップ講座」は引き続き行い、今年度は新たに「リスクマネジメント」の講義をプログラムに追加致しました。是非、ご参加下さい。

日時・会場 平成19年7月26日(木)～7月27日(金) 国立京都国際会館 <http://www.icckyo.or.jp/>
〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町422番地 TEL (075)705-1234

参加費用・定員 1人〇,〇〇〇円(資料代・意見交換会参加費・消費税込み)・150名(定員となり次第締切)

参加対象者 老健施設の実務経験5年以上の会員施設職員

受講証書の発行 全期間受講された方に受講証書を交付致します。ただし、遅刻・早退等により全課程を受講されなかった際は、受講証書の交付は致しかねます。

参加券 研修会開催の1週間前に株式会社〇〇〇〇よりご郵送させていただきます。

第1日目		
9:00	受付	
9:50	オリエンテーション	
9:55	開講式 全老健 会長 川合 秀治	
10:00～11:00	介護保険制度と介護老人保健施設—これから老健が目指すもの— 全老健 会長 川合 秀治	
11:10～12:10	施設内職員研修のあり方について—選ばれた施設として— 老人保健施設〇〇〇 〇〇〇〇	
13:10～14:10	《中堅職員スキルアップ》最良のホスピタリティを求めて—接遇について— 株式会社〇〇〇 〇〇〇〇	
14:20～15:20	リスクマネジメントについて 全老健 安全推進部会員 〇〇〇〇	
15:35～17:30	パネルディスカッション—これからの老健に求められるもの— (チームケア、口腔ケア、リハビリテーションマネジメント 短期集中含む、 認知症ケア、ディスカッション) 進行: 全老健 研修委員長 平川 博之 パネラー: 全老健 研修推進部会員 〇〇〇〇 全老健 施設運営部会員 〇〇〇〇 全老健 リハビリテーション部会員 〇〇〇〇 老人保健施設〇〇〇〇 〇〇〇〇	
18:00	意見交換会(全員参加)	
第2日目		
9:00～12:00	グループワーク ①リハビリテーション 進行:全老健 研修委員長 平川 博之 チューター:全老健 リハビリテーション部会員 〇〇〇〇	
13:00～15:30	②在宅支援 全老健 在宅ケア推進部会員 〇〇〇〇 ③認知症(リスクマネジメント) 全老健 認知症部会員 〇〇〇〇 ④認知症(リハビリテーション) 老人保健施設〇〇〇〇 〇〇〇〇 ⑤認知症(身体・栄養管理) ⑥認知症(拘束・虐待)	
15:30	閉講式	

平成 19 年度第 1 回管理者(職)研修会【東日本会場】カリキュラム

第1日目

時間	研修テーマ	講師
12:25	開 講 式	全国老人保健施設協会 会長 川合 秀治
12:30 14:30	介護老人保健施設に求められること、果たすべき役割	全国老人保健施設協会 会長 川合 秀治 厚生労働省老健局 ○○ ○○
	休 憩	
14:40 15:40	介護老人保健施設の運営・財務・会計について	全国老人保健施設協会 監事 ○○公認会計士 ○○ ○○
15:40 16:20	経営指標から見る 介護老人保健施設の経営状況	独立行政法人福祉医療機構 ○○ ○○
	休 憩	
16:30 18:30	パネルディスカッション 「老健のあるべき姿を目指して～目からこの在宅支援～」	進行: 全国老人保健施設協会 管理運営委員長 ○○ ○○ パネラー: 全国老人保健施設協会 在宅ケア推進部会長 ○○ ○○ 在宅ケア推進部会員 ○○ ○○

第2日目

時間	研修テーマ	講師
9:00 10:00	介護報酬制度の将来と地域ケアシステム —老人保健施設の役割をめぐって—	○○大学 教授 社会保障審議会介護給付費分科会 委員 ○○ ○○
10:00 12:00	日頃の問題点解決 ①リスクマネジメント ②サービスの質の確保に向けて	進 行: 全国老人保健施設協会 常務理事 研修委員長 平川 博之 パネラー: 全国老人保健施設協会 副会長 高橋 清 全国老人保健施設協会 常務理事 管理運営委員長 ○○ ○○ 全国老人保健施設協会 常務理事 社会保障制度・報酬委員長 内藤 圭之
	閉講式	

平成 19 年度全国老人保健施設協会 医師研修会 カリキュラム

第1日目 平成 19 年 9 月 7 日(金)

時間	研修テーマ	講師
12:20	オリエンテーション	全国老人保健施設協会
12:25	開 講 式	全国老人保健施設協会 会長 川合 秀治
12:30 13:30	CGA(高齢者総合評価)について	○○大学○○ 教授 ○○ ○○
13:30 14:30	介護老人保健施設における泌尿器科疾患の見方	○○大学○○ 教授 ○○ ○○
	休 憩	
14:40 15:40	介護老人保健施設における眼科疾患の見方	介護老人保健施設○○○○ 理事長 ○○ ○○
15:40 16:40	介護老人保健施設における皮膚科疾患の見方	○○○病院 ○○ 部長 ○○ ○○
	休 憩	
16:50 17:50	介護老人保健施設における高血圧・心不全の治療	○○大学 ○○ 教授 ○○ ○○
17:50 18:30	介護老人保健施設における看取り	全国老人保健施設協会 常務理事 ○○ ○○
18:30	意見交換会(全員参加)	

第2日目 平成 19 年 9 月 8 日(土)

時間	研修テーマ	講師
9:00 12:00	グループワーク 1. 老人保健施設における終末期ケアのあり方 2. 老人保健施設における認知症のリーダースHIP 3. 老人保健施設におけるリスクマネジメント 4. 在宅復帰を目的としたケアのあり方	進 行: ○○大学 教授 ○○ ○○ 補 佐: 全国老人保健施設協会 常務理事 研修委員長 平川 博之
	昼食休憩	全国老人保健施設協会
13:00 14:00	グループワーク (同上)	研修委員 ○○ ○○
14:00	閉 講 式	全老健 常務理事 平川 博之

全老健都道府県支部での研修会等(一例)

支部名 (会員数)	事業名
青森県	支部研修会
	津軽支部研修会(老健施設と介護保健法)
	講習会(介護支援専門員実務研修)
	研修会(リハビリテーション研修会)
	研修会(包括的自立支援プログラム)
	研修会(老人保健施設運営・経営セミナー)
	研修会(事務・相談員・栄養士分科会)
千葉県	研修会(看護・介護分科会)
	新任・看護介護職員研修会
	ケアプラン研修会
	PT・OT・ST職員研修会
	接遇マナー研修会
	栄養・調理職員研修会
	抑制についての研修会
	ロールプレイング研修会
	看護・介護リーダー研修会
	研究事例発表会
	支援相談員研修会
	基礎介護技術研修会
	通所リハビリテーション研修会
	管理者研修会
	危険防止研修会
事務職員研修会	
遊びリテーション研修会	
大分県	大分県老人保健施設大会
	施設訪問公開講座
	介護支援専門員実務研修受講試験講習会
	事務管理部会研修会
	看護・介護部会研修会
	栄養給食部会研修会
	リハビリ部会研修会
支援相談・介護支援部会研修会	

各都道府県支部においても独自の研修会を多数開催 (平成14年度調べ)

社団法人全国老人保健施設協会 正・準会員 加入・申込状況

正会員数 3276名、準会員数 0名 (平成19年9月30日現在 9月中正会員加入申込数2)

1 都道府県別加入状況

No.	都道府県	協会会員		未加入施設	開設施設数	※協会加入率	正会員施設入所定員数
		正会員	準会員				
1	北海道	146	0	13	159	91.8	13,278
2	青森県	54	0	2	56	96.4	4,989
3	岩手県	59	0	0	59	100.0	5,342
4	宮城県	70	0	5	75	93.3	7,008
5	秋田県	50	0	1	51	98.0	4,960
6	山形県	40	0	0	40	100.0	3,701
7	福島県	60	0	5	65	92.3	5,965
8	茨城県	86	0	8	94	91.5	7,672
9	栃木県	56	0	0	56	100.0	4,984
10	群馬県	70	0	3	73	95.9	5,455
11	埼玉県	111	0	15	126	88.1	11,365
12	千葉県	113	0	13	126	89.7	11,138
13	東京都	142	0	10	152	93.4	14,819
14	神奈川県	139	0	16	155	89.7	14,761
15	新潟県	86	0	1	87	98.9	8,964
16	富山県	43	0	0	43	100.0	4,055
17	石川県	37	0	1	38	97.4	3,584
18	福井県	30	0	1	31	96.8	2,874
19	山梨県	29	0	1	30	96.7	2,700
20	長野県	75	0	8	83	90.4	6,551
21	岐阜県	60	0	1	61	98.4	5,662
22	静岡県	88	0	5	93	94.6	9,309
23	愛知県	137	0	19	156	87.8	14,081
24	三重県	57	0	1	58	98.3	5,513
25	滋賀県	28	0	1	29	96.6	2,240
26	京都府	53	0	1	54	98.1	5,652
27	大阪府	154	0	28	182	84.6	14,557
28	兵庫県	131	0	13	144	91.0	12,129
29	奈良県	36	0	0	36	100.0	3,274
30	和歌山県	32	0	6	38	84.2	2,839
31	鳥取県	36	0	0	36	100.0	2,790
32	島根県	32	0	0	32	100.0	2,070
33	岡山県	71	0	1	72	98.6	5,691
34	広島県	98	0	0	98	100.0	8,008
35	山口県	54	0	6	60	90.0	3,922
36	徳島県	50	0	0	50	100.0	4,025
37	香川県	48	0	1	49	98.0	3,548
38	愛媛県	61	0	1	62	98.4	4,876
39	高知県	29	0	2	31	93.5	1,922
40	福岡県	148	0	9	157	94.3	13,074
41	佐賀県	35	0	2	37	94.6	2,773
42	長崎県	52	0	0	52	100.0	4,584
43	熊本県	86	0	0	86	100.0	6,233
44	大分県	53	0	3	56	94.6	4,188
45	宮崎県	42	0	0	42	100.0	3,059
46	鹿児島県	69	0	5	74	93.2	5,264
47	沖縄県	40	0	1	41	97.6	3,652
	合計	3,276	0	209	3,485	94.0	299,100

2 ブロック別加入状況

地区	正会員施設	未加入施設	開設施設数	協会加入率
①北海道・東北	479	26	505	94.9
②関東・甲信越	907	75	982	92.4
③東海・北陸	452	28	480	94.2
④近畿	434	49	483	89.9
⑤中国・四国	479	11	490	97.8
⑥九州	525	20	545	96.3
合計	3,276	209	3,485	94.0

3 正会員施設・設置主体状況

設置主体	施設数	構成比(%)	入所定員数	平均定員数
医療法人	2,411	73.6	222,831	92.4
社会福祉法人	502	15.3	46,146	91.9
済生会	23	0.7	1,875	81.5
財団法人	61	1.9	5,759	94.4
社団法人	37	1.1	3,259	88.1
一部事務組合	36	1.1	2,887	80.2
市町村	127	3.9	9,151	72.1
社会保険協会	28	0.9	2,660	95.0
日本赤十字社	6	0.2	582	97.0
厚生連	23	0.7	1,899	82.6
健康保険組合	7	0.2	654	93.4
共済組合	4	0.1	348	87.0
都道府県	4	0.1	228	57.0
その他	7	0.2	821	117.3
合計	3,276	100.0	299,100	91.3

4 正会員施設・設置形態状況

設置形態	施設数	構成比(%)	入所定員数	平均定員数
独立	1,586	48.4	150,613	95.0
病院併設	1,066	32.5	93,698	87.9
診療所併設	424	12.9	36,470	86.0
老人福祉施設併設	118	3.6	10,907	92.4
病・福祉併設	31	1.0	2,783	89.8
診・福祉併設	13	0.4	1,063	81.8
軽費老併設	27	0.8	2,417	89.5
その他	11	0.3	1,149	104.5
合計	3,276	100.0	299,100	91.3

5 正会員施設・入所定員規模状況

入所定員規模	施設数	構成比(%)	入所定員数	平均定員数
49人以下	63	1.9	2,345	37.2
50～99	1,518	46.3	112,036	73.8
100～149	1,522	46.5	157,160	103.3
150～199	159	4.9	24,505	154.1
200人以上	14	0.4	3,054	218.1
合計	3,276	100.0	299,100	91.3

※協会加入率 = 正会員施設 / (正会員施設 + 未加入施設) × 100